

中学校第1学年 音楽科学習指導案

天理市立福住中学校
教諭 犬塚 良子

1 単元名 ギターで思いを伝えよう！

2 単元目標

○ギター演奏を聴いて、の音色や響きの良さを感じ取り、奏法の特色や効果を活かして表現する技能を身につける。

(知識及び技能)

○ギターの音色や響きを感じ取り、奏法の特徴や効果を活かして表現の工夫をする。

(思考力・判断力・表現力等)

○ギターの歴史などにも関心を持ち、意欲的に器楽表現に取り組んで、ギターの奏法から、音色の特徴を聴き取る。

(主体的に学習に取り組む態)

3 単元について

(1) 教材観

本校の器楽活動では、1年生でアコースティックギターを取り入れている。上級生が授業で軽音楽器を演奏している様子を見ているため、早く弾きたいという声も多く、興味や関心を持って取り組める楽器である。また、初めて触る楽器ではあるものの、メディアなどで目にする機会も多いため苦手意識が少なく、意欲的に取り組める。次年度からは軽音楽器を扱うことを考え、ハイポジションコードで授業を進めるのがよいと思ったが、ギターを愛好する上でローポジションコードは必須であるため、難易度は上がるがローポジションコードの学習にした。

演奏曲目は4コードで演奏できるベン・E・キングの「Stand by me」を選曲した。この楽曲も元々黒人霊歌、ゴスペルの先駆けとなる曲をもとに作られている。また、ロドリゴ作曲『アランフェス協奏曲』はオーケストラとアコースティックギターの協奏曲であり、スペインの内戦の中、平和を願って作曲されたもので、音楽とは奏者や作者の思い・感情を表現するものであることに気付かせたい。生徒自らが自分の気持ちや思いを音楽で表現してみようとするきっかけになればと思いこの教材を選んだ。

(2) 生徒観

のびのびとした雰囲気の中で授業が行われている。授業の中では「気づき」が多く、気づいた点を発言したり、みんなで協力してお互いの技術向上に向けて意欲的に練習している。初めてギターを触るという生徒がほとんどであるが、ギターの練習には大変意欲的なクラスである。いい音を示すことで、一人一人がギターのいい音色を自分なりに理解し、いい音色に近づけるように工夫しながら意欲的に練習を行ってきた。

(3) 指導観

初めてギターを触る生徒もいるので、ギターの奏法の基礎をおさえつつ、鑑賞を通じて感じた“いい音”で演奏することを意識しながら取り組ませたい。また範奏を通して、自分の演奏と聴き比べる活動を行い、どのようすればいい音が鳴るのか、また、どうすれば

スムーズに指が動くのかなど、自分で課題を見つけ、練習を工夫し、仲間と協力しながら取り組ませたい。

また練習曲、鑑賞曲から音楽の歴史を学習する中で、差別や母国愛・平和についての道徳的な部分も考えさせたい。それを発信することができるのは言葉だけでなく芸術分野においても様々な形で発信したい人の思いを届けることができるということ。自分の考えや思いを音楽に乗せて人に届けることができる素晴らしさに気付かせたい。

(4) ESDとの関連

・本学習で働かせるESDの視点(見方・考え方)

多様性・・・それぞれの国や地域で生まれた音楽や楽器にはいろいろな種類があり、歴史や思い・考え、奏法も様々である。

相互性・・・演奏するということは自己表現のひとつであって、楽器と心に関わり合って表現に繋がっている。

連携性・・・みんなで協力し、心を合わせて一つの音楽をつくりあげることによって音楽が一つになり、人の心に響く音楽になっていく。

・本学習を通して育てたいESDの資質・能力

○批判的に考える力

授業の中での指定されたコードだけでなく、色んなポジションに同じ音があることに気付く。

○未来像を予測して計画を立てる力

課題に対して目標を持って練習に取り組むことができる。

○コミュニケーションを行う力

授業内の発見をクラスメイトに発信し共有できる。またクラスメイトの意見や話も聞くことで、自分の技術向上や知識理解に役立てることができる。

○他者と協力する態度

班やグループの仲間と協力したり、励ましたりしながら活動することができる。相手の状況を見て、前向きな声掛けや行動を取ることができる。

○つながりを尊重する態度

練習曲や鑑賞曲を通して、音楽は心の表現であることを理解し行動できる。また自分も表現しようとする事ができる。

○進んで参加する態度

自分の言動に責任をもち主体的に練習に参加することができる。

・本学習で変容を促すESDの価値観

人権・文化を尊重する

幸福感に敏感になる。幸福感を重視する。

・達成が期待されるSDGs

- 1 貧困をなくそう
- 4 質の高い教育をみんなに

4 単元の評価規準

(ア) 知識及び技能	(イ) 思考力・判断力・表現力等	(ウ) 主体的に学習に取り組む態度
<p>①演奏を聴くことで、ギター の音色や響きの良さを感じ取 っている。</p> <p>②ギターの音色や響き、奏法 の特色や効果を活かして器楽 表現する技能を身につけてい る。</p> <p>③身に付けた技術を使って、 歌唱・器楽・創作で表してい る。</p>	<p>①ギターの音色や響きを感じ 取り、奏法の特徴や効果を活 かして表現の工夫をしてい る。</p> <p>②曲想にあった音色で演奏す ることができる。</p>	<p>①ギターの音色や響き、奏法 の特色や効果に関心を持ち、 意欲的に器楽表現に取り組も うと している。</p> <p>②ギターの奏法などから、ギ ターの音色の特徴を聴き取っ ている。</p> <p>③ギターの歴史や文化を知 り、音楽を愛好しようとして いる。</p>

5 単元の指導計画（全9時間）

学習活動	○学習への支援	○評価 ・備考
<p>1 地域のギタリストさん(ゲスト)の演奏</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上手だな ・かっこいいな ・あんな風に弾きたいな ・自分も弾けるのかな 	<p>○ゲストさんの演奏披露を鑑賞し、自分たちもこれから、ギターを始め上手になりたいというモチベーションを上げるきっかけを作る。</p>	<p>ア① (知・技) ウ② (主体的)</p>
<p>2 練習する。(実技)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・難しい ・すぐ弾けるわけじゃない <p>3 曲目について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アフリカ系アメリカの曲なんだ(奴隷時代) ・ゴスペルの先駆けなんだ ・弾くのは思っているより難しい <p>4 ギターについて調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史 ・奏法 ・ジャンル <p>5 活動の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギター弾けるっていいな ・練習は必要だな 	<p>○「Stand by me」の簡単4コードを使った曲で練習する。</p> <p>○元々は黒人霊歌であることから、なぜその音楽が生まれたのか考えさせるとともに、音楽で感情を表現できることの素晴らしさに気づかせたい。</p> <p>○グループでギターの歴史や奏法・ジャンルにどのようなものがあるのか調べる。 自分の知らないギターの世界があることに気付かせる。</p> <p>○次回の活動へつながるように前向きに考えさせる。</p>	<p>ウ① (主体的) ア② (知・技) イ② (思判表) PCで調べる</p> <p>ウ③ (主体的) PCで調べる</p>
<p>6 ギターを使った楽曲鑑賞・調べる。</p> <p>ロドリーゴ作曲 『アランフェス協奏曲』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ギターとオーケストラって新しい組み合わせだな。 <p>7 どんな事をみんなに伝えたい?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お腹が空いたよ ・今反抗期なんだ <p>8 演奏披露</p> <p>9 活動の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音楽って自由に感情表現ができるってすごい 	<p>○歴史や時代背景を知り、歌詞がついていなくても考えや思いを伝えることができる素晴らしさに気付かせたい。</p> <p>○自分の思いをグループで共有し、発信する内容を考えさせ、練習曲に簡単な歌詞を入れて創作する。</p> <p>○人に伝えることの難しさにも気付かせたい。</p> <p>○今後の展開に向けて、言葉や態度だけでなく、いろんな心の表現の仕方があることに気付かせたい。</p>	<p>ウ③ (主体的) PCで調べる</p> <p>ア③ (知・技) イ② (思判表)</p>